

成果報告書

教育研究課題名	ペナン在住の中華系経営者を対象にしたアントレプレナーシップ起源に関する研究
---------	---------------------------------------

1、補助事業の取組状況（500字以内）
2025年4月からマレーシアサインズ大学経営学部アントレプレナーシップ分野の教員と連携し、ペナン在住の中華系経営者とのネットワーク構築を進めた。それと同時に、出国前に決まった単著出版（アントレプレナーシップのスタートアップ）に向けて執筆も進めた。 会計ソフト、食費加工、旅行業、レストランチェーン、ドラッグストアチェーンのそれぞれを経営する5人の経営者との面談を通じて、起業に関する制度の空白と密集をテーマに愛知県との比較分析を行った。これらの研究成果を2026年3月、下記のタイトルでEntrepreneurship Regional Development (Q1)に投稿した。"Opportunity Structures and Entrepreneurial Choices: A Comparative Review of Malaysian Chinese Necessity Entrepreneurship and Youth Career Mobility in Aichi, Japan"その他、チームワーク科学、人間と生成AIのメンタリングの補完性に関する論文をそれぞれ1件、Q2レベルの海外ジャーナルに投稿済みである。 並行して、マレーシアサインズ大学日本文化センターの副田氏と連携し、2025年8月には油井ゼミ発ベンチャー・株式会社Unikleに所属している経営学部生3人がペナンを訪問し、ペナン日本人学校の生徒児童に対してデザイン思考ワークショップを実施した。学生の旅費はシャチカツ事業から補助いただいた。2025年11月、本学とマレーシアサインズ大学との学術連携協定をコーディネートした。

2、補助事業の成果（500字以内）
在外研究期間中の実績 【書籍】 『チームワークを科学する：イノベーションを導くチームの作り方』（分担執筆）範囲：「5章 信頼を醸成するチームワーク——ハイブリッド型PBL」（pp. 92-pp. 111）東京大学出版会、2025年9月 『アントレプレナーのスタートアップ：デザイン思考と未来洞察で実現するイノベーション』（単著）、全248頁、白桃書房、2025年10月 【論文】 「ベンチャー企業の成長ステージに応じたビジネス介入の実態と課題 一人間のメンターと生成AIの補完可能性を探る実証研究」油井毅、日本ベンチャー学会「INCJ研究プロジェクト論文集」pp. 1-14、2025年9月 「起業意思はどこから生まれるのか—アントレプレナーシップ教育が導く行動から意思への転換プロセス」油井毅、『愛知学院大学経営管理研究所紀要』32、pp. 1-16、2025年12月 【国際学会発表採択済】 "Speech Dynamics in Face-to-Face vs. Online Workshops: A Teamwork Science Perspective" Tsuayoshi Aburai, 14th International Conference on Information and Education Technology (ICIET), Apr 2026, Koriyama, Fukusima. "Optimizing New Venture Teams in the Era of Diverse Work Modes: Applications of Teamwork Science", Tsuayoshi Aburai, Academy of Management 2026 Annual Meeting, Aug 2026, Philadelphia, PA, USA. 【受賞】 「愛知県発明協会会長賞」油井 毅、浦野 実咲、坂 晃成、近藤 純生（中部地方発明表彰）2025年11月 【外部資金】 2026年度科研費基盤研究(C)「デザイン思考が非認知能力を媒介してアントレプレナーシップを醸成する効果の研究」研究代表、単独（2026年度～2028年度の3カ年）、助成予定額1,700千円

所属	職名	氏名
経営学部	准教授	油井 毅 印